

アラブ首長国連邦における女性銀行——イスラーム経済の一側面について——

川村 藍*

はじめに

アラブ首長国連邦 (UAE) における臨地研究 (2011年6月～7月) の際に、現地の「女性銀行」を調査する機会を得た。女性銀行は今後注目すべき事例と思われるので、以下に報告をおこないたい。

ここで「女性銀行」と総称するのは、イスラーム銀行が適用するサービスのうち、顧客及び直接顧客と接する行員全てが女性であるものである。いわば、女性銀行は女性顧客のために女性行員による金融サービスを提供する場である。これまで銀行全体が女性だけの経営となっている事例はないが、貧困の削減や女性のエンパワーメントを目的としたバングラデシュのグラミン銀行、パキスタン、中南米のコスタリカやベネズエラで営業をはじめた女性を対象とした銀行が存在する¹⁾。従来の研究では、女性と銀行などの金融との関係は、女性のエンパワーメントや貧困からの脱却に着目するものが一般的であり、マイクロクレジットなど開発やジェンダーの視点から議論されてきた [村松 2002; 松井・池本編 2006; D'espallier et al. 2011]。

このような女性を支える金融機関の事例が増えてきている一方で、中東の女性を対象とした金融機関に着目した研究は少ない。湾岸諸国に女性だけを対象とした銀行があることをもっとも早く報告したのは片倉もところである [片倉 1997: 93]。これは人類学者による観察を簡単に述べたもので、経済活動として論じたものではなかった。これまで女性銀行が研究対象とされてこなかったのは、主として2つの理由によると思われる。ひとつは、イスラームにおけるありきたりの男女分離の一例として看過されたこと、もうひとつは、イスラーム経済を対象とする女性研究者がほとんどいないため、事例にアクセスできなかったためであろう。

今日のイスラーム経済は、「歴史のなかで連綿と実践されてきた金融取引が現代的な意匠をまとうて再登場してきたもの」 [小杉・長岡 2010: 117] であり、女性銀行を伝統的なイスラーム的慣習としての男女分離の一例とみなすべきではない。イスラーム世界に近代資本主義が浸透すると共に、それをイスラーム化しようとする営為の中から、イスラーム金融やその他のイスラーム経済の現象が生じた。その意味で、イスラーム銀行の提供する女性銀行は、現代的なビジネスにイスラーム圏の女性が参入することと金融機関をイスラーム化して運営しようとする新しい試みが交差する地点で誕生したと見るべきであろう。

UAE では 1971 年に建国されてから、ザイド初代大統領とその妻ファータィマ・ビント・ムバラク女史の働きかけで、UAE 国民の女性たちに対する教育向上の機会や職業の権利が拡大し、女性たちの社会進出が推進されてきた²⁾。そのため UAE 国内の女性たちの高学歴高収入化が進み、

* 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

1) パキスタンのファースト・ウーマン銀行 (First Women Bank) は 1989 年にブトー・ベナズィール首相の主導で 1989 年に設立された [FWB]。南米コスタリカにおいて女性の社会進出が進んでおり、それを支える一つとして 2010 年から国立銀行が女性専用の銀行「Banca Mujer」を新たに設置した。この銀行では、女性経営者たちに低金利で資金提供することが目的とされている。ベネズエラ的女性開発銀行 (Banco de la Mujer 通称 Banmujer) は、2001 年以降マイクロファイナンスによって、女性たちの起業を支援し、雇用状態を向上させることを目的としている [EVUKI]。また、マイクロファイナンスを活用する女性たちの返済能力が高いことが近年評価されている [D'espallier et al. 2011]。

2) UAE 女性たちへの教育改革により、2000 年代前半には官公庁をはじめ企業の管理職に就く女性の割合が大きくなり、社会経済の決定権に影響力を持つようになった [Sallon 2003]。女性たちの社会進出は、2000 年代に入ってから顕著に成長していることが、労働人口の変動から見て取れる。UAE 統計局によると、1975 年に UAE 国民

彼女たちが安心して資金運用できる場の提供が求められた。それが女性銀行の需要が増えた背景にあると考えられる。

以下では、3つの女性銀行を対象に、実際の支店の様子、経営・顧客の両サイドからの聞き取りを中心に報告をおこなう。女性たちの高学歴化、社会進出によって管理職や官公庁での女性の割合が高い UAEにおいて、イスラーム銀行が設置している女性銀行がどのような特徴を有しているのかは、最後の考察で述べたい。



写真1 ジャウハラ支店の相談窓口

1. ジャウハラ (Jawhara)

ジャウハラはドバイ・イスラーム銀行が2003年に開設した女性銀行である。ジャウハラでは基本的に、男性の顧客と同じイスラーム金融のサービスを提供している。ジャウハラはドバイ・イスラーム銀行の一部門であり、本店と異なる事業を独立して運営しているわけではない。

運営の実態をみると、口座開設などの事務手続きはジャウハラで行うものの、銀行業務のすべてをジャウハラで独立して行っているわけではなく、投資事業など資金運用はドバイ・イスラーム銀行が一括して管理している。本部での行員は男性が多く、ジャウハラは女性専用の受付・相談窓口の位置づけとなる。

ジャウハラでは、女性専用支店の他に、ドバイ・イスラーム銀行の支店内にも女性専用の相談ブースを設けている。女性専用支店は、ドバイ、アイン、ラアス・アル＝ハイマ、アブダビやシャルジャなどに現在7つあり、さらにこれらの地域とアジュマン、フジャイラにおいてドバイ・イスラーム銀行の支店内に19の女性専用相談窓口をもっている。ジャウハラの支店、相談窓口の入口には、「女性のみ」というパネルが掲示されており、支店入口の警備を含めて業務はすべて女性が行い、男性は立ち入り禁止となっている。

顧客層は、UAE国民以外にもフィリピン人やインド人といった外国人労働者も多く、非常に多様である。ジャウハラを利用する顧客は特別なレートで資金提供を受けることができ、国籍に関係なく女性であれば一定の条件のもとで誰でも利用できる特徴がある。また、無料送迎、航空券の購入や旅行の手配、ショッピングの割引サービスを受けることができる³⁾。さらに、ジャウハラで車購入の契約を締結した場合、自動車保険のディスカウント、無料のバックアップサービスや車の登

の女性雇用者数はわずか1065人であった。その後、徐々に女性たちの社会進出が促進されるにしたがい、2005年には37853人に達している。

3) たとえば、ジャウハラのクレジットカードを提示するだけで、カルバンクラインなどのブランド商品の購入やスポーツ・ジムで割引料金が適用される特典がついている。

録手続の代行などのサービスもある。住宅費、治療費、教育や訓練、旅行サービス、行事（結婚など）などの融資に関して、低いコストで提供されている。ただし、投資、車や住宅購入に関わるイスラーム金融取引は、基準の収入を超える女性でない限り利用することは困難である。個人が金融取引を行う場合、給与所得者は4,000 ディルハム以上の月給を得ている必要があり、会社経営者などは月々15,000 ディルハム以上の収入がないと融資を得ることが厳しい⁴⁾。口座の預金高に応じてカードの色が異なり、黒・金・銀の3色となっている。黒のプラティナカードを所有しているとVIPルームで応対やショッピングの代行などのサービスが受けられる。

車や住宅の購入などで利用するイスラーム金融商品を扱う相談窓口には、ニカーブもしくはシャイラを着用したUAE国民と思われる女性が多くみられた⁵⁾。ジャウハラを利用する顧客は様々な装いをしているが、行員は基本的に黒のアバーヤに黒のシャイラを着用している。顧客の女性たちは、時折ジャウハラの行員と雑談を交えながら、資金調達をどのように人生設計に取り入れるべきかを話していた。

行員に対して聞き取りをしたところ、ジャウハラでは女性しかいない空間であることから、気がねすることなく仕事がしやすいという。他にも、女性行員の家族が彼女たちがイスラーム銀行で働くことに好意的であることもわかった。ここで注目すべき点は、女性銀行は顧客だけでなく、行員のニーズにも応えていることであろう。UAE出身者が多いイスラーム銀行において、ジャウハラのように女性だけを相手にする仕事の方が、現地の女性たちとその家族にとって安心でき、同性の人たちとだけ接するため、行員たちも仕事がしやすいという意見を聞くことが多かった。別の女性銀行でも同様の意見が聞かれた。たとえば、相談窓口を担当している女性は、利子を扱う従来型金融機関では働きたくなかったためイスラーム銀行を選択したと述べたが、彼女は、家族がイスラーム銀行で娘が働いていることを誇りにしているとも述べており、ジャウハラで働くことで男性と接する必要がないのがとても気持ちが落ち着くという。

以上のことから、ジャウハラはドバイ・イスラーム銀行において女性専用の受付・相談窓口の役割を持ち、顧客のみならず、行員のニーズにも応えていることがわかる。

2. リーム (al-Rīm)

リームはエミレーツ・イスラーム銀行の傘下にある女性銀行である。エミレーツ・イスラーム銀行は2004年からリームを開設してきた。女性が顧客の場合、書類などの事務手続きをリームが行い、資金運用等の業務はエミレーツ・イスラーム銀行が担っている。そのためリームの行員は、エミレーツ・イスラーム銀行と女性顧客の間の架け橋という位置づけにある。

現在5つの支店と2つのエミレーツ・イスラーム銀行支店内に女性専門のブースを設置しており、男性と同じサービスの他に、後述する様々な女性向けのサービスを提供している。報告者が訪問した相談窓口は、エミレーツ・イスラーム銀行内の一角にリームの顧客用ブースが設置されており、

4) UAE統計局の発行しているデータには、収入に関して、UAE国民の女性のみに着目した統計がない。UAEで労働している外国人を含めた女性たちの平均的な収入は、企業主であれば、2009年の平均月収は19798.98 ディルハムであり、雇用されている身分であれば、2009年の平均月収は5550.97 ディルハムである。外国人を含めた男性の場合、企業主は2008年の平均月収25572.76 ディルハムであり、雇用されている身分であれば、2009年の平均月収は7917.57 ディルハムである。ただし、外国人労働者とUAE国民の収入の差が大きいことに注意する必要がある。2009年には企業主であれば、UAE国民は平均64441.82 ディルハムの月収であるのに対し、外国人の企業主は平均月収22117.64 ディルハムであり、およそ3倍差がある。また、従業員であれば、UAE国民は平均月収20557.50 ディルハム、外国人は平均月収が5813.08 ディルハムと、3.5倍を超える差がある。このような数値からみると、UAE国民であれば、融資の基準を満たすことができることがうかがえる。

5) シャイラは、UAEの女性が使用するヴェールのことであり、薄くすけるような黒い長方形の布である。UAE女性はふつう黒のアバーヤにシャイラを着用する [濱田 2010]。

その中で接客される。ジャウハラのように男性が完全立ち入り禁止状態の支店とは違い、男性顧客が行き交う中で、完全に隔離された空間を提供している。



写真2 リームでの応対用部屋



写真3 左側にある女性の写真が掲げてある柱のような部屋で、ルームの顧客と対応する

行員は、女性の顧客以外にも、空き時間は男性顧客の接客をこなす。また、顧客の要望によって、金融取引の出張サービスを行う。たとえば、担当のカスタマー・サービスに電話で連絡すれば、自宅まで行員が出向いて金融サービスの相談などを行う。もし、ルームを担当する行員が先に男性客の接待をしている場合は、顧客は女性専用の部屋で待つことができる。部屋には女性を意識したピンク色のソファが置かれていた。外側からは、ポスターで顧客が見えないようになっているが、部屋の中からは特殊な加工をされている硝子のおかげで、外を見ることができる。部屋の壁は白地であり、ソファのピンク色がより引き立って見える。部屋におかれたテーブルにはソファの色を意識したピンク色のガーベラが飾ってある。

ルームで受けられるサービスは金融サービスだけでなく、ショッピングの割引、航空券の割引と旅行の手配などジャウハラと同じく多岐に渡る。女性顧客のための特別な割引サービスが多く、ショッピングなどの他に、給与の振込みをルームにすると特典がつく。たとえば、車の購入に関わる金融商品に対して、給与をルームの口座に指定している女性は、支払いで生じる上乗せ金額が0.25%割引される。給与振込みをルームに指定していない、もしくは、給与を得ていない女性は上

乗せ金額に対して0.15%の割引が受けられる。また住宅の購入に関しては、リームのカードを持っているだけで0.20%の割引が適用される。

顧客の多くは電話でのやり取りが多いようで、行員は声を聞いただけで大体どの顧客なのかがすぐにはわかるという。相談窓口を担当する行員の服装については黒いシャイラに黒のアバーヤか、ニカーブを着用するというのが基本的な接客スタイルのようであった。

リームの事業責任者は女性であり、エミレーツ銀行に10年以上勤務し、リームの責任者となったベテランである。彼女の職場はエミレーツ・イスラーム銀行の本部内であり、頻繁にリームの支店から業務に関する問い合わせの電話が入る。彼女はリーム以外にも富裕層向け金融サービスの事業責任者を兼任しており、リームが提供するサービスのマネージメントに全て対応しながら、他の業務の責任も負っていた。本部の男性行員に対して手際よく指示を出し、リームの案件とその他の業務を難なくこなしていた。

ジャウハラとの違いは、リームは女性専用の銀行窓口というよりは、一つの金融商品として事業責任者や行員に認識されている点である。給与振込者の優遇などから、リームは女性顧客の仲介を行い、高収入の女性たちの取込みを目的とした市場の拡大をはかっていることがうかがえる。つまり、女性をターゲットにした市場戦略のひとつとして位置づけられていると考えられる。

写真4 カスタマー・サービスの担当行員



写真5 ダーナの受付

3. ダーナ (Dana)

ダーナはアブダビ・イスラーム銀行が提供する女性銀行である。ダーナは同行が設立された1998年に設置された。カスタマー・サービスを担当している行員は顧客との仲介人という位置づけであり、顧客の要望を聞きとって対応する。顧客の要望や手続はすべて男性の支店長が最終的なチェックを行う。その他の支店でも同様な手続が取られ、ダーナは女性顧客たちの相談を女性行員が対応する場となっている。

ダーナにもジャウハラと同様に独立した女性専用の支店が設置されている。報告者が訪問したジュメイラ支店は、アブダビ・イスラーム銀行営業所の2階に設置されている。専用のエレベーター

で上がるとダーナ支店に直接繋がっている。エレベーターを出ると女性の警備員が立って出迎えてくれた。ジュメイラ支店の場合、受付と相談窓口が2つ設置してある。相談窓口で話している顧客はほとんどUAE国民の女性たちで、行員と同じく黒のシャイラと黒のアバーヤを着用していた。顧客の女性たちは行員と話している間は非常にリラックスしているようで、シャイラを外す女性顧客が何人かいた。行員は仕事中的ということもあってか、シャイラを外すことはないが、談笑することもあり、とてもにぎやかな雰囲気である。

ダーナではアブダビ・イスラーム銀行と同じサービスの他に、ジャウハラやリームと同様にショッピングの割引サービスが受けられる。ダーナは主に女性たちの個人資産の運用や管理を中心としたサービスを提供している。

ダーナに来る女性顧客の目的としては、新たに車の購入を希望する以外にも、最近は新たな学位を取得する目的で相談にくるケースが多いと聞いた。大学を卒業した後も新たな学位を取得したいという姿勢から、UAE女性たちが教育に重点をおいていること〔松原2011〕がうかがえる。

アブダビ・イスラーム銀行の傘下ということもあり、行員の大半はアブダビ出身者もしくは居住者である。行員はジャウハラと同じく、女性しかいないことから、気兼ねすることなく働きやすい環境にいるという意見を行員から聞いた。

まとめ

イスラーム銀行の傘下にある女性銀行を調査して、これまで世界的に展開されている女性のみを対象とした銀行とは明らかな違いをもっていることがわかった。何よりも、グラミン銀行や南米の女性専用の銀行とは違い、女性たちのエンパワーメントや社会進出の基盤を作る目的に特化していないことが挙げられる。女性を主なターゲットにしたグラミン銀行は、貧困からの脱却のために、女性たちに連帯責任制のグループを編成させ、これらのグループに無担保・小額融資を提供している。これにより女性たちの社会進出を促し、自らが経済の担い手として自立する基盤作りの役割を担っている。一方で、UAEの女性銀行の特徴について以下の3点が指摘できよう。

第一として、UAE女性たちの社会進出と高学歴・高収入といった社会的地位変化によって、彼女たちが女性銀行を必要とするような需要が生じている。UAEの女性たちは高学歴化が進み、企業の管理職や省庁などで活躍する女性が増えた。それを反映するように、女性銀行でも社会で活躍している女性たちをターゲットとした金融商品を提供していることがわかった。つまり、UAEでの女性銀行は、すでに社会で活躍している女性たちが、その富を活用するためにサービスを受けるためのものであることがうかがえる。UAEの女性たちは、イスラーム金融市場において重要なアクターとして認識されていると言えよう。

第二として、イスラーム金融との結びつきがあげられる。本稿で扱った女性銀行はいずれも、イスラーム銀行が展開している女性顧客向けのサービスである。ここには、イスラームの教義に則しながら、現代社会の金融的ニーズに対応するというイスラーム銀行のあり方が直接的に反映している。女性を新しい顧客層として開拓するために、男性と同様のサービスが受けられるのは当然として、さらに融資の際のコスト削減や女性だけのためのサービスが提供されている。

第三として、調査した女性銀行において、顧客だけでなくそこで働く行員にとっても利点が多かったことが指摘できる。イスラームでは男女分離が選好されることから、女性の顧客を獲得するために女性銀行が設立された。その結果として、女性行員がイスラームの教えを尊重しながら社会進出をする機会が得られ、また女性同士であることから顧客も気兼ねなく行員と話せるため、顧客のニー

ズに即応するサービスが提供できていることが聞き取りからわかった。このように女性の雇用という点から見て、女性銀行が従来なかった機会を提供していることも、重要な発見であった。

参考文献

- 片倉もとこ 1997 『イスラームの日常世界』 岩波新書.
- 小杉泰・長岡慎介 2010 『イスラーム銀行——金融と国際経済』 (イスラームを知る:12) 山川出版社.
- 長岡慎介 2011 『現代イスラーム金融論』 名古屋大学出版会.
- 濱田聖子 2011 「第 25 章 女性の服装——長衣とヴェール着用の伝統」 細井長 (編) 『アラブ首長国連邦 (UAE) を知るための 60 章』 明石書店, pp.160-165.
- 松井範惇・池本幸生 (編) 2006 『アジアの開発と貧困: 可能性、女性のエンパワーメントと QOL』 明石書店.
- 松原直美 2011 「21 世紀を生きる UAE 女性の展望」 中東調査会 『中東研究』 (1), pp.113-123.
- 村松安子 2002 「マクロ経済政策とジェンダー: 非対称性への挑戦」 田中由美子・大沢真理・伊藤るり (編) 『開発とジェンダー: エンパワーメントの国際協力』 国際協力出版会, pp.132-144.
- D'espaller, B. et al. 2011. "Women and Repayment in Microfinance: A Global Analysis," *World Development* 39(5), pp.758-772
- Sallon, H. 2003. "Women in the United Arab Emirates," *Contemporary Review* 283(1651), pp.101-104.

インターネット

- FWB (First Women Bank). "History," http://www.fwbl.com.pk/?page_id=34 (2011 年 8 月 3 日閲覧)
- EVUKI (Embassy of the Bolivarian Republic of Venezuela to the UK and Ireland). *Fact Sheet: Celebrating 10 Years of Venezuela's Women's Development Bank: BANMUJER*. London: Embassy of the Bolivarian Republic of Venezuela to the UK and Ireland. http://www.embavenez-uk.org/pdf/fs_Banmujer.pdf (2011 年 8 月 3 日閲覧)
- National Bureau of Statistics, UAE. "Economic Statistics," <http://www.uaestatistics.gov.ae/EnglishHome/ReportsByDepartmentEnglish/tabid/104/Default.aspx?MenuId=1&NDId=11> (2011 年 10 月 1 日閲覧)